

包括協定による富山県と(株)北陸銀行との連携について

特徴的な取組み

1 北陸新幹線の開業効果を活かすための取組み

北陸銀行のネットワークを活用した首都圏や県外における開業PR

- (1) 来る3月27日(木)~4月2日(水)の期間、ながの東急百貨店において、『~北陸新幹線開業に向けて~ 富山うまいもの祭』を開催

- ・入口正面における両県ゆるキャラ(きときと君、アルクマ)による出迎えPR
- ・地下1階イベントステージを活用した「富山うまいもの祭」(6社の商品(ますの寿司、シロエビ、かまぼこなど)を販売)の開催
- ・5階連絡通路において、北陸新幹線開業に向け、富山・長野観光パネル展を開催

- (2) 北陸新幹線沿線の主要20支店における新幹線開業応援ボードの設置やロゴ入り名刺の配布、全国を対象とした情報誌における富山県観光PR特集(10ページ)の掲載

- ・新幹線応援ボード(縦1.5m×横0.8m)を店舗入口に設置
- ・新幹線沿線(東京都~富山県)の91支店の従業員約1,500人が新幹線開業ロゴ入り名刺、カレンダーを活用しPR
- ・開業約1年前の3月20日発刊号及び平成27年3月20日発刊号において、富山県を特集(情報誌「The GOLD」: JCBゴールド会員向け情報誌、発行部数110万部/月)

2 県内企業の国内外における販路開拓支援

- (1) 本年6月にタイにおいて、「ものづくり商談会@バンコク2014」を開催し、「富山県バンコクビジネスサポートデスク」を活かし、本県企業の出展を支援するとともに、新テクノホールにおけるビジネス・サミット(大規模商談会)の開催を検討

- ・北陸銀行ほか地方銀行等が共同で開催、出展全国160社(うち富山県6社)、商談件数約2,500件を見込む
- ・富山県バンコクビジネスサポートデスク(平成24年12月14日開設)

- ・ビジネス・サミット(平成19年度から大垣共立銀行と共同で東海・北陸地域交互に開催)平成26年度は名古屋市で「食」をテーマに開催(バイヤー100社、出展企業140社参加)

- (2) 北陸銀行のボーナスキャンペーンのプレゼント商品に県産品(「まちの逸品」等)を採用

- ・ボーナスキャンペーン 夏(6月~8月)、冬(11月~12月)
- ・期間中に定期預金を預け入れた先着40,000人の個人へ景品をプレゼント(北陸3県、北海道から4つの景品)

3 県民スポーツ活動の支援

来年11月1日に開催の「富山マラソン2015」における県内外への大会PR等の協力

- ・富山マラソン2015(平成27年11月1日開催、参加者約10,000人)
- ・平成26年4月下旬の実行委員会において事業計画を決定(県内外への大会PR、ボランティアの確保と養成、協賛金募集など)
- ・北陸銀行では、富山県のスポーツ振興を図るため、これまで「スポレクとやま2010」に300万円寄付(H22.10)、「県民スポーツ応援団」に100万円寄付(H23.1)

4 ギャラリー・ミレーと新県立近代美術館の連携

新県立近代美術館における企画展実施の際に収蔵作品(ミレーなどバルビゾン派の絵画等)の面から協力

- ・ギャラリー・ミレー(平成24年9月1日開館、運営委員長 雪山行二(県立近代美術館長))
- ・収蔵作品は、ミレーをはじめ、コロー、ドービニー、デュプレなどバルビゾン派の作品や写実主義の先駆者クールベの作品など53点